

山田養蜂場の社会貢献活動

中国・安徽省で植樹活動、広がる緑の繋がり

～日中ボランティア約 400 名参加、中国での植樹本数は、延べ 141 万本に～

株式会社 山田養蜂場（本社：岡山県苫田郡鏡野町 社長：山田英生）では、2001 年 10 月より横浜国立大学との共同研究により中国・内モンゴル各地で、植生調査を開始し、その調査をもとに、植樹活動を実施してきました。そして中国での植樹活動 9 年目となる本年は、内モンゴルでの成功体験をもとに中国・安徽（アンキ）省で 2 回目となる植樹祭を行いました。日本国内から 30 名、中国現地の学生等約 370 名のボランティアで計 4 万本の植樹を実施しました。これまでに行った内モンゴル自治区内での植樹活動をあわせると、植樹参加者は 2,680 名、植樹本数は 141 万本を超えます。（国内外植樹の総計は、180 万本以上です）

植樹の指導は、植物生態学の権威である、横浜国立大学名誉教授の宮脇 昭（みやわき あきら）先生と、藤原 一繪（ふじわら かずえ）先生にして頂きました。



（写真）植樹をする宮脇先生（中央右）、大西取締役（右端）、現地の関係者、高校生（左）

- 植樹日 6 月 16 日（土）9 時 30 分～11 時（1 回目）、13 時～15 時（2 回目）
- 参加者 日本側参加者 30 名 中国側参加者約 370 名
- 植樹場所 中国・安徽（アンキ）省の淮北（ファイベイ）市内

本件に関するお問い合わせ

株式会社 山田養蜂場 広報室 柏原、木村、寺田
〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場 194
TEL:0868-54-1906（月～金 9:00～17:30、土日祝除く）
FAX:0868-54-3346 <http://www.3838.com>

■実施概要

6月15日	金曜日	午後	宮脇昭先生、藤原一繪先生による講演会
16日	土曜日	午前9時30分～11時 午後13時～15時 午後17時	植樹祭1回目（龍脊山：昨年と同じ場所） 植樹祭2回目（淮北市 工業団地） 参加者全員での懇親会

■今回の植樹内容 **合計 40,000 本**

中国・安徽省の淮北市内にアベマキを中心に、イタヤカエデ・ハネミエノキ・モクゲンジなど7種類4万本の中低木を混植。

■活動実績（中国）

年	参加人数	フフホト市・林西県	トプトサキシ市生態区建設	安徽省
平成13年	—	植生調査	—	
平成14年	—	植生調査	—	
平成15年	—	植生調査	—	
平成16年	300名	20,000本	1,030,028本	
平成17年	300名	20,000本	5,150本	
平成18年	300名	50,000本	5,150本	
平成19年	270名	50,000本	—	
平成20年	280名	50,000本	—	
平成21年	240名	50,000本	—	
平成22年	290名	50,000本	—	
平成23年	300名	—	—	40,000本
平成24年	400名	—	—	40,000本
合計	2,680名	290,000本	1,040,328本	80,000本
今回のツアーを含めた植樹総合計				1,410,328本

■安徽省での植樹の経緯

株式会社 山田養蜂場では、砂漠化が進む内モンゴルの緑を復活したいとの思いから、横浜国立大学と共同で2001年より植生調査を行い、植樹場所、各地域の主木を選定し植樹活動を行ってきました。結果、現地の人たちの手で緑を保護し、増やす活動を継続的に出来るようになり、9年目にあたる本年は、長年にわたる森林の伐採により、豊かな自然環境が失われつつある中国・安徽省淮北市にて、昨年につき2回目の植樹を行うことを決定しました。

今後も、持続的な植樹活動の基盤を作っていくように支援を行っていきます。

(地図) 安徽省



■参加者の声

・愛知県在住、女性

「内モンゴルでの植樹には過去2回参加しました。内モンゴルとくらべると、植樹する場所が岩だらけで不安でしたが、現地の学生さんはとても親切で、私の手を引いて案内をしてくれて安心して植樹できました。学生さんも植樹を一生懸命していて、「一緒に植えましょう」と積極的に誘ってくれたことが嬉しかったです。来年も参加したいと思います。」

・2012年度 新入社員、女性

「自分たちが植えた木が成長するのを想像すると楽しみです。学生のみんなどは、言葉はわからなくても一生懸命話を聞いてくれてとても嬉しかったです。淮北は自分が見たことがない岩山ばかりで驚きました。これから植樹を続けていくことで淮北に緑が増えたらとても嬉しいです。」

■今後の展望

安徽省淮北市では、エコシティ構想が進んでおり、緑と人が共生できる都市を目指しています。今後も、淮北市での植樹活動と啓発活動などを行い、持続的な植樹活動基盤を作っていけるように支援を行っていきます。また、日本人と現地ボランティアの方々との交流も深めていこうと考えております。

【宮脇 昭（みやわき あきら）先生プロフィール】

1928年生まれ。国際生態学センター長。横浜国立大学名誉教授。

ドイツ国立植生園研究所で潜在自然植生理論を学び、世界を舞台に国内外、1700ヶ所以上に、合計4,000万本を超える植樹を行ってきた。

1991年「日本植生誌」の完成で朝日賞受賞

1992年 紫綬褒章受賞

2006年 ブループラネット賞受賞

【藤原 一繪（ふじわら かずえ）先生プロフィール】

1944年生まれ。横浜国立大学卒業。

フランス中央研究機関（CNRS）、給費研究員（リール大学）、横浜国立大学環境科学研究センター助手などの経歴をもつ。

現在、横浜国立大学名誉教授、横浜市立大学特任教授。

宮脇先生と共に国内外での森作りを指導。

著書に「混源植物」「環境問題を考える」（共著）「東南アジアの植物と農林業」（共著）

「日本植生誌」全10巻（共著）など